

大牟田 | OMUTA MACHINAKA SAISEI MIRAI VISION |

まちなか再生 未来ビジョン

未来ビジョンとは、将来的な大牟田の魅力創出及び活力の維持向上のため、概ね20年後を目標として、公・民・学で共有するエリアの将来像とその実現のための取組指針を定めたものであり、また地域において最上位に位置づけられる計画です。



Wa!!
Omuta

発行者：大牟田まちなか再生推進エリアプラットフォーム

お問い合わせ：大牟田市まちなか活性化推進室

住所 〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地（大牟田市庁舎内）

TEL 0944-85-0468

まちなか再生とは…

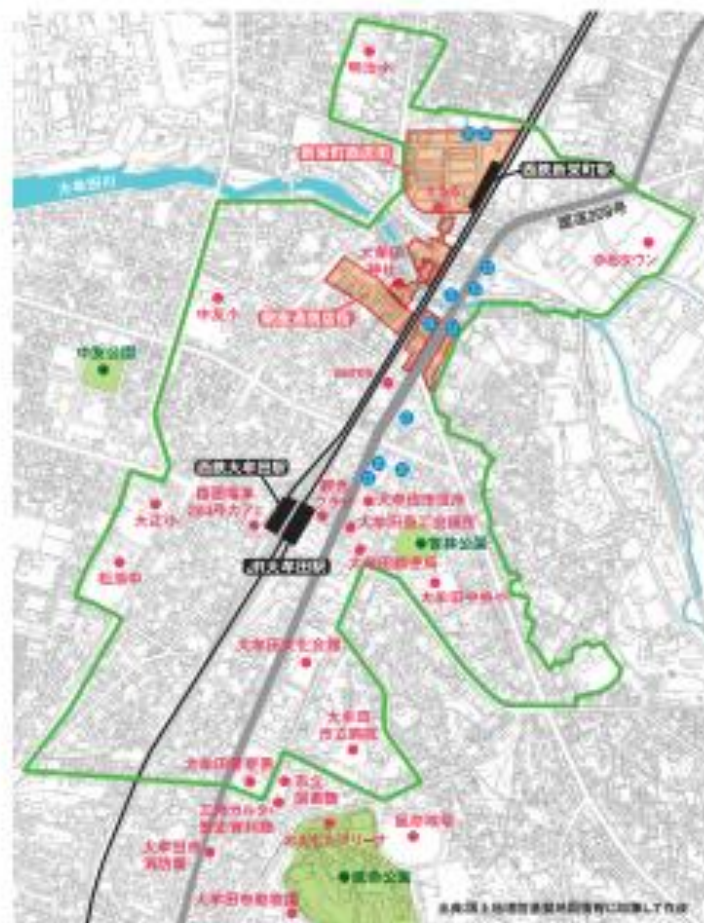
●かつての大牟田市のまちなかは、商店や百貨店が集積し、また鉄道やバスなど多様な交通手段に支えられた地域として、周辺市町から多くの人を訪れる地域経済の中心として機能していました。

●しかし現在では、人口減少に加えモータリゼーションの進展等により居住や消費が郊外化した結果、まちなかの居住者や来街者が減少し、空き家・空地・空き店舗等の低未利用地が発生する「都市のスポンジ化」が進行して、まちなかの活力が低下しています。

●これから公・民・学が連携して取り組む「まちなか再生」は、みんなが幸せを実感できる働き方・遊び方・暮らし方・学び方などについて、自分事としてとらえながら大牟田の良さを活かしつつ、エリアの魅力や価値を上げていくための取り組みです。

●まちなかを再生することによって、「まちの価値」が高まり、郊外へ波及して「まち全体の魅力や価値」を上げていくことに繋げるものです。

まちなか再生の対象エリアは、大牟田市立地適正化計画における「都市機能誘導区域(中心市街地・周辺地区・都市風土)」と同エリアとします。



地域の現状と特性

●まちなかの課題

人口構造変化への対応

- 人口減少の進展
- 高い高齢化率
- 生産年齢人口の減少

低未利用地や空間の利活用

- 空き家・空地・空き店舗の増加、危険な空き家の存在
- 地価の継続的な下落

まちの安全安心と潤い(緑)の確保

- 緑量の不足
- 公園が少ない、使われていない
- まちなかの浸水エリア(R2.7豪雨時)

●大牟田の位置づけとポテンシャル

機能的な役割

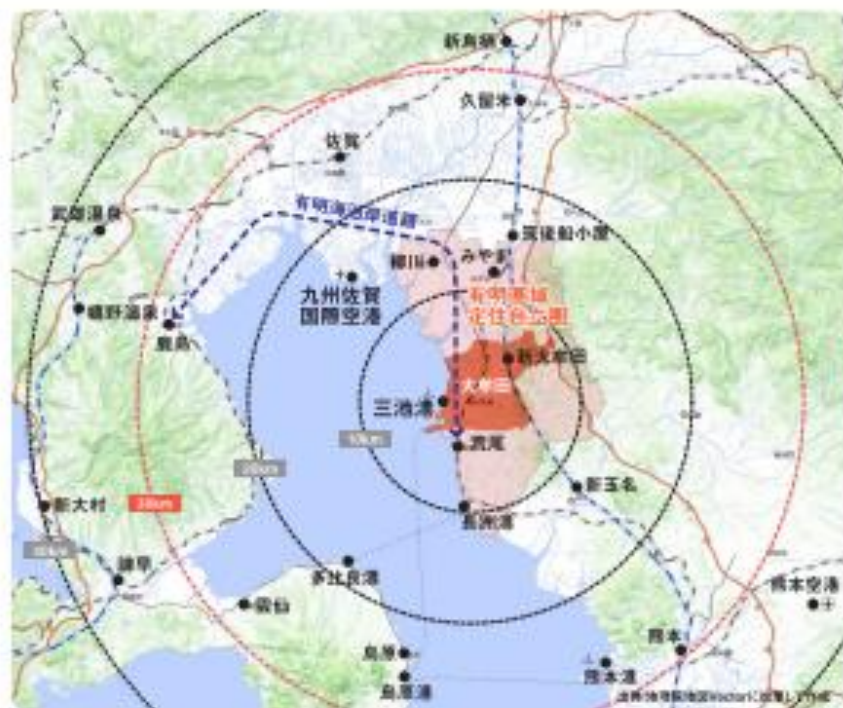
大牟田市は、環・有明海の中心都市で主要な機能がまちなかに集中し、経済・商工や観光の分野を牽引しています。

交通のネットワーク

まちなかは広域交通の結節点となっており、陸・空・海の各拠点から九州内外や東アジアの都市へと繋がっています。

マーケットポテンシャル

大牟田市を中心に、環・有明海の80万人都市圏を形成するほか、30km圏内には熊本市・佐賀市・久留米市といった九州の主要都市が存在するなど、大きなポテンシャルを有しています。



まちなか再生の考え方

地域特性の分析や再生に当たっての課題等を踏まえ、「居心地が良く、訪れたい、歩きたいまちなか」の創造を図るまちなか再生の考え方は、次のとおりです。

- ①都市活力の維持・向上を図る交流・関係人口の拡大
- ②県南広域市町村エリアの中心となるシンボリックな都市空間の形成
- ③分散拠点ネットワーク型都市構造の中心となる交通結節ハブの構築
- ④緑豊かで災害に強い都心部の形成
- ⑤市民の憩いの「場」、ビジネス交流の「場」、チャレンジの「場」の創造
- ⑥快適で便利な都市居住の実現
- ⑦市民参加による都市経営



まちなかの目指す姿…Wa!!Omutaの3つのWa!!

大牟田らしいWell-beingに向けて、ターゲットに応じた“3つのWa”を実現する、まちなか再生を目指します。「大牟田のまちなか」からたくさんのWa!!が生まれ、それらが市内外へつながり大きなWa!!へと拡がることで、魅力ある未来を創造します。



エリアの将来像

まちなかエリアのうち、地区の特性に応じて5つのゾーンを設定し、個性を生かした大牟田らしいまちなかをつくります。

まちなか居住・ミクストユースゾーン (大牟田駅西側エリア)



空き家や空地を活用して魅力あるお店やスペースが出現し、居住エリアとしての魅力が上がり、参って回りたくなるエリア、そして若者居住が進み、新しいコミュニティを生み出すエリアを目指します。

ウェルフェアゾーン (新栄町・商店街エリア)



医療・福祉といった特色ある新栄町駅前における市街地再開発事業の進捗に合わせ、周辺商業の充実と、様々な世代が交流する新しい都心の実現を目指します。

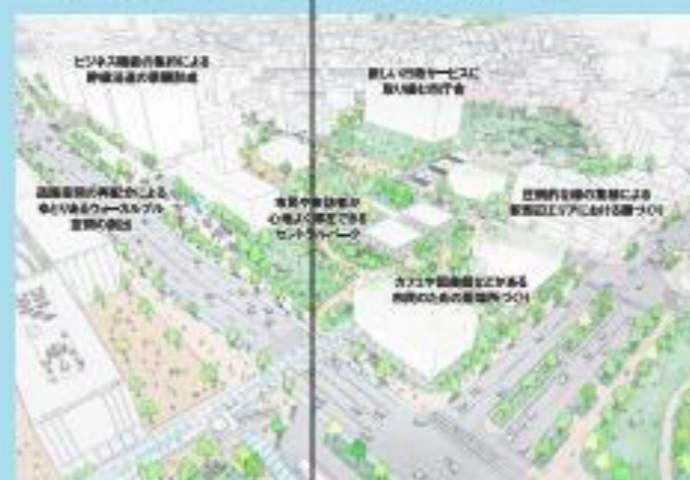


エントランスゾーン (大牟田駅周辺エリア)



都市の交通結節点としての機能強化を図り、訪れる人の玄関口としての顔づくりと、賑わいがあり滞留できる居心地の良い場づくりを進め、環・有明海の中心都市「大牟田」のエントランスに相応しい魅力あるエリアを目指します。

パブリックゾーン (国道208号東側エリア)



市庁舎の建替えを契機に、環・有明海の広域機能やビジネス拠点として、緑豊かな空間整備を進め、市民や来訪者が心地よく滞在できるエリアを目指します。

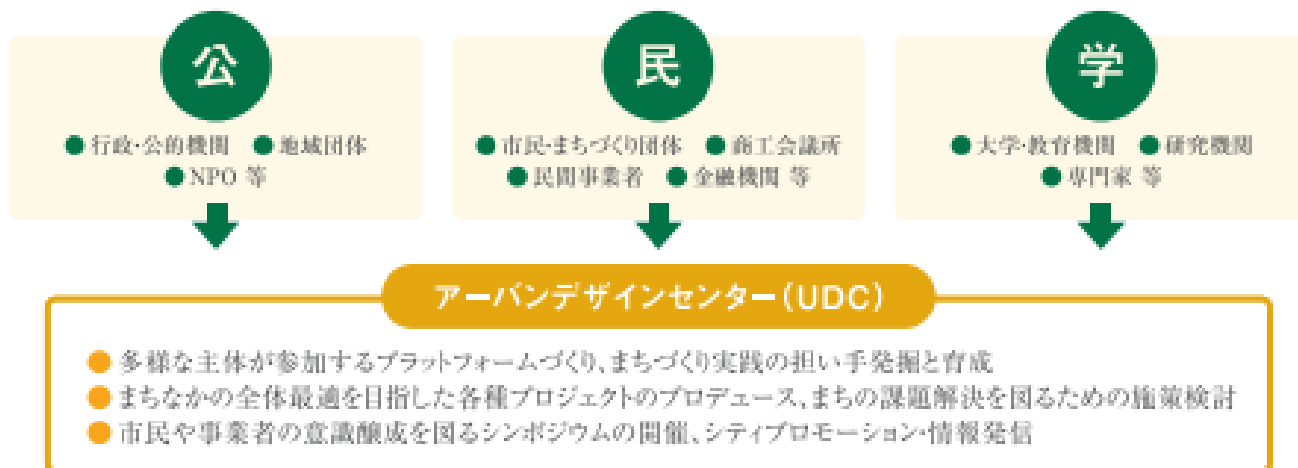
イノベーションゾーン (線路と国道208号に挟まれたエリア)



新しい企業進出や地元企業、若者、学生が新しいことにチャレンジし、活躍できるエリアを目指します。

推進体制

これまで未来ビジョンは、エリアに関わる多様な立場の人で構成する「大牟田まちなか再生推進エリアプラットフォーム（APF）」にて検討してきました。これから未来ビジョンを実現していくため、APFの機能を引き継ぎ、大牟田市と並走する公・民・学連携組織として、「アーバンデザインセンター」を設立します。



リーディングプロジェクト

リーディングプロジェクトはUDC主導のもと、エリア協議会等を設立し、検討・実施していくことになります。

①大牟田駅周辺エリアの機能再編と顔づくり

- 都市インフラの再編（駅前広場再編、道路空間の見直し）
- 市庁舎周辺のエリア再編、連鎖的建替え
- 市民憩いの広場の整備（防災、避難広場）

②空き家・空地を活用したまちづくり

- まちなか居住・創業等による新たな機能の導入
- 空き家のリノベーション促進
- 空地の活用（緑化、コミュニティ広場の拡大）

③新栄町駅を中心とした健康・福祉と賑わいのまちづくり

- 法定再開発事業の推進
- 関係機関（大学や医療機関等）と連携した健康・福祉の取り組み
- 大牟田川まで続く憩いと賑わいの場づくり

④災害に強いレジリエントなまちづくり

- 防災イベント等の開催
- 老朽危険家屋の除去推進
- 防災公園の整備

⑤人の力が光るイノベティブな場づくり

- 学生アイデアコンペの開催
- 若者チャレンジの場づくり
（ビジネスサポートセンター等との連携）

⑥多様なプレイヤーが関わるプラットフォームづくり

- 公・民・学連携組織（UDC）の設置
- プロジェクトの実践・プロデュース
- 取組みの情報発信と外部ネットワークの拡大
- 市民のまちづくり参加の仕掛けづくり

ロードマップ

目指す姿の実現に向けて、今後（STEP2）リーディングプロジェクトを推進してまいります。

STEP1

未来ビジョン策定

- APFの構築
- 未来ビジョンの検討

STEP2

リーディングプロジェクトの推進

- UDCの設立
- UDC及びエリア協議会等による検討・実施

STEP3

Wallの拡大と変化に合わせた見直し

- 交流・関係人口の拡大
- 新たなプロジェクトの発芽
- 周辺へ効果の波及